

千葉県看護協会
令和6年度
医療安全担当者中央交流会

「診断の質を改善する
～チームで取り組むということ」

令和6年9月14日(土)
日本医科大学千葉北総病院
岩井智美

自己紹介

日本医科大学千葉北総病院 看護部 看護師長（管理：1病棟）
医療安全管理部<<兼務>> 医療安全管理者

- ・3度の飯より、ビールが好き！（500ml×2）
- ・ストーリーを知らないドラマを見ても泣ける
- ・夢：生まれ変わったらナマケモノになること



「豆腐メンタルな私ですが、焼き豆腐を目指したい、今日この頃です」

【患者安全の日】

テーマ・スローガン

WHO (World Health Organization)

世界患者安全デー <<9月17日>>

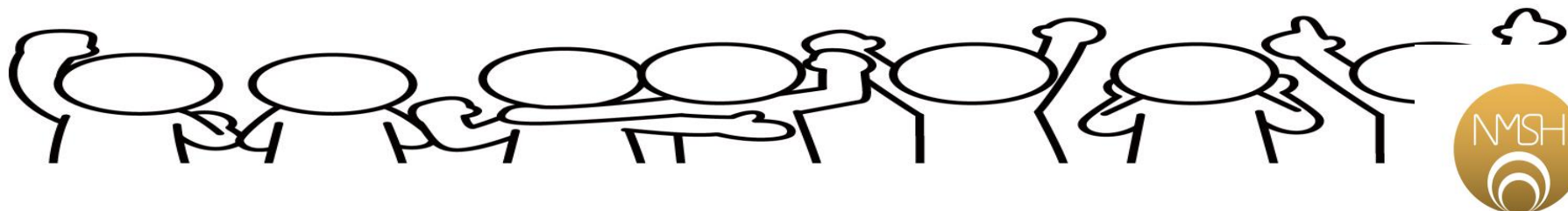
テーマ

『患者安全のための診断の改善』

スローガン

『正しく理解し、安全の確保を！』

日本看護協会・看護開発部看護業務・医療安全課：訳



診断の質って・・・

【診断】

- ・患者に観察される現象（症状・徴候・検査所見）の源を医学知識に照らし、正しく解釈する作業

（平成30年度内科学会生涯教育講演会：松村 正巳氏）

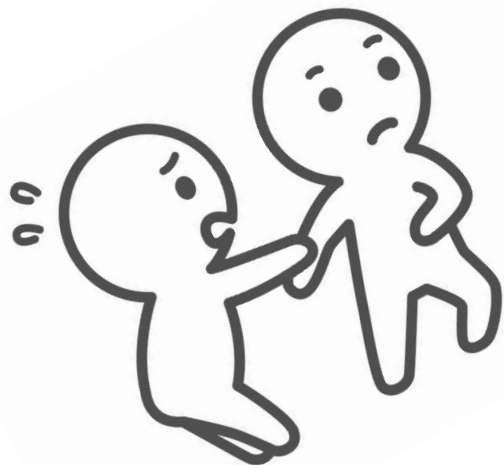
- ・ある現象の性質や原因を特定すること

（ウィキペディア）



診断の質って…

・診断エラーにつながる可能性のある
システムの問題



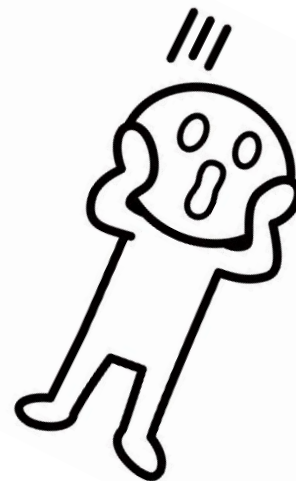
- ・コミュニケーション障害
医療者間、患者と医療者など
- ・高負荷
- ・非効率的なチームワーク
など



= 診断エラーの素因となる 組織の脆弱性

診断の質って・・・

- ・臨床医の認知因子
 - ・臨床医のトレーニングと経験
 - ・偏見
 - ・疲労
 - ・ストレス など



診断の質って・・・



診断の安全性を優先し

システムを強化し

安全な診断経路を設計し

医療者は患者が正しい意思決定を行えるよう
に支援し

診断プロセス全体に患者を関与させるために
多面的アプローチ

(WHO)



診断の質……

でも…… 医学的診断は、医師の領分……

「医師」がすること。

診断に 医師以外の力って 必要？



そもそも、必要とされているの？

診断の質……

「臨床診断」と「病理診断」



患者の症状・病歴
視診・聴診・触診など
バイタルサイン
各種検査
(血液・超音波・CT/MRI
心電図・などなど)



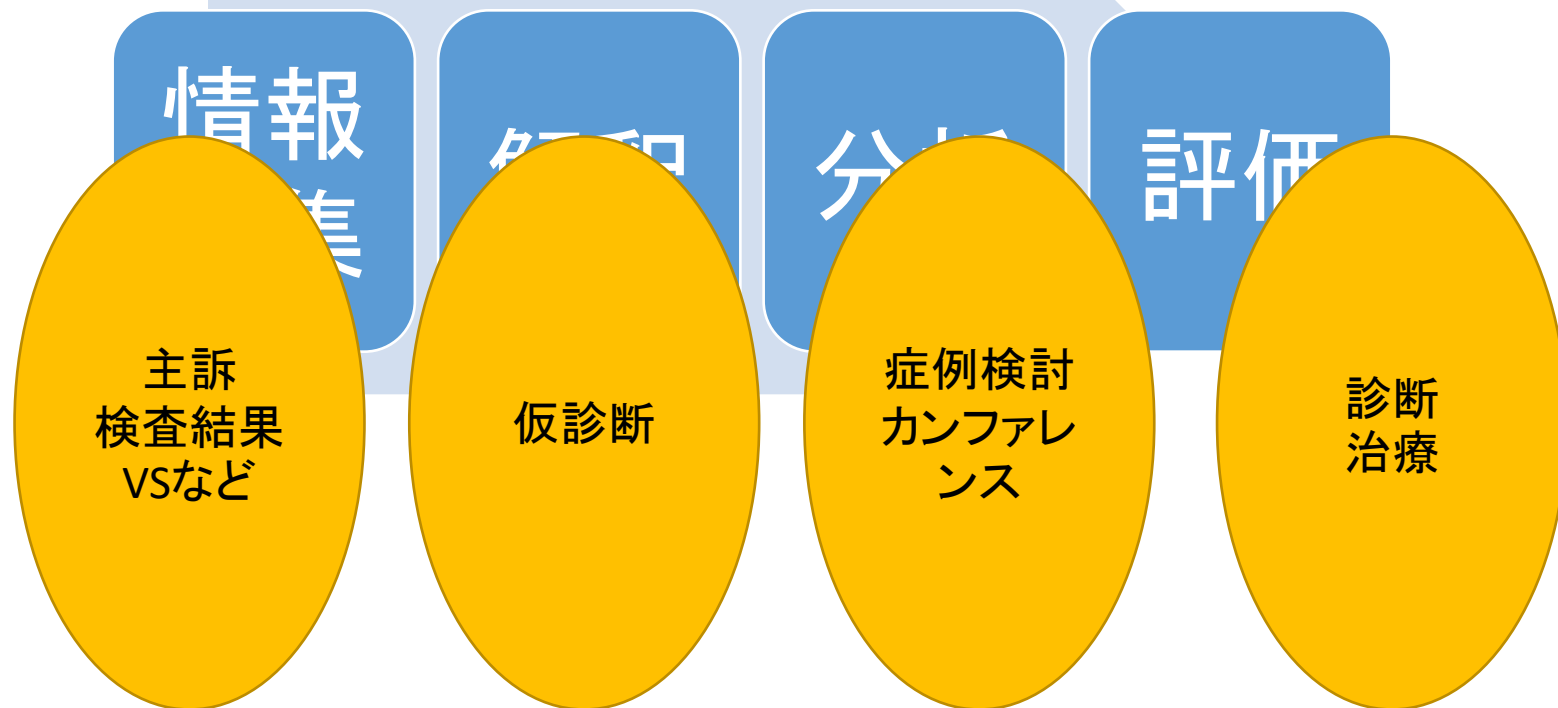
細胞診
生検



確定診断

診断の質……

診断のプロセス



診断の質……

- ①医師の指示が正しく伝達されること
検査結果が正しく報告されること
- ②他職種が協働して
患者の診察やケアを行っていること
- ③外来患者が円滑に診察を受けられること
外来診療が適切であること
- ④外来患者・入院患者ともに
診断的検査を確実・安全に行っていること

(公益財団法人 日本医療機能評価機構 解説集一般病院2 3rdG: Ver、3.0)

などなど……………などなど……………



診断の質……

診断の質を改善する

➡ 診断に至るまでの
それぞれのプロセスが
適切で安全である
ように評価・修正



チームの一員として……

チームって……

活動をともに行う集団。共通の目的、達成すべき目標、
そのための**やり方**を**共有**し、連帯責任を果たせる**補
完的なスキル**を備えた人の**集合体**。

(ウィキペディア)



同じセクションで同じ**仕事を細分化**し

分担して仕事を進めるものが**チーム**



チームの一員として……

チームとグループの違い

チーム

- 共通の目的や目標が必要
- 参加する一人一人に役割が必要
- 目的を達成するために段取りが必要
- 成果を獲得
- 達成
- 仲良しでなくてもよい

グループ

- 目的や目標は不要
- 集う人々に役割は不要
- 活動の予定は不要
- 欲求の充足
- 気晴らし
- 仲良し

チームの一員として……

チーム医療とは

「医療に従事する**多種多様な医療スタッフ**が、
各々の**高い専門性**を前提に、**目的と情報を共有**し、
業務を分担しつつも互いに**連携・補完し合い**、
患者の状況に**的確**に対応した医療を提供すること」
と一般的に理解されている。

厚生労働省 平成23年 チーム医療の推進に関する検討会報告書より

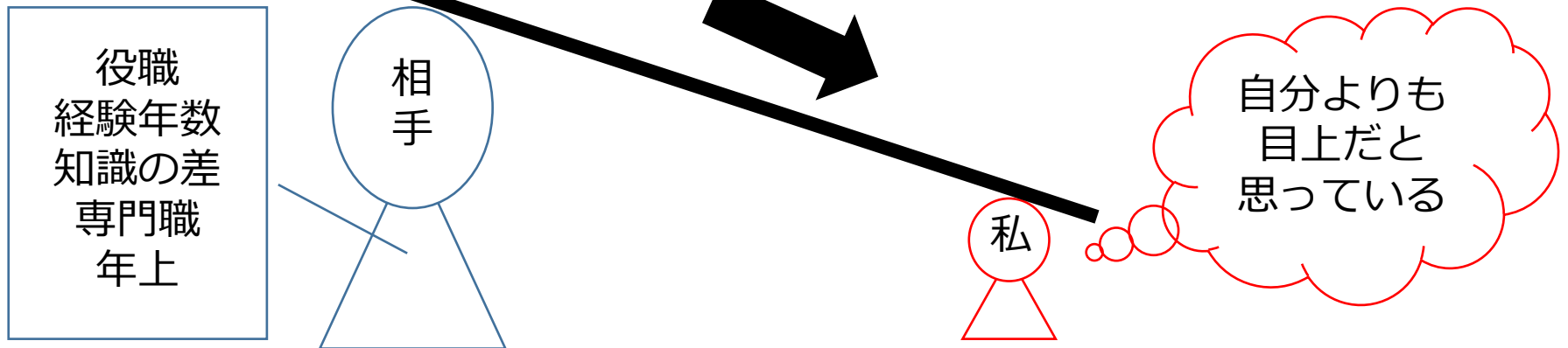


チームの一員として……

チームを取り巻く**権威勾配**

- 役職
- 経験年数
- 知識の差
- 年齢

チーム内のフラットな関係性や
コミュニケーションを阻害する要因



チームの一員として……

もともと病院は、
様々な人が働いている集団

- 医療資格 有／無(さらに職種ごとの資格)
- 経験年数(新人もベテランも)
- 勤務時間と超過勤務(家庭や個人の事情)
- 能力や技能のバラつき
- 性格(時間や決まりを守れるか?)
- コミュニケーション能力は?
- リスク感性は?

チームの一員として……

メンタルモデル・・

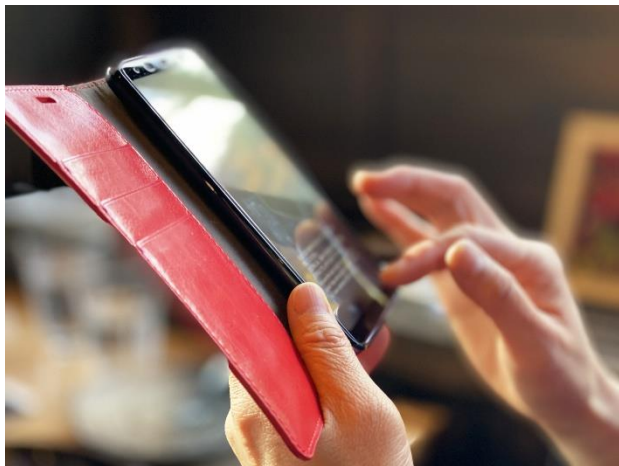
私達がどのように世界を理解し、
どのように行動するかに影響を及ぼす、
深く浸み込んだ前提、一般概念であり、
あるいは**想像**や**イメージ**でもある。

「学習する組織」システム思考で未来を創造する

ピーター・M・センゲ



現代人にとってのコミュニケーションツール
→ 双方向のようで一方向
文字による情報伝達 → 思い込みが起きやすい



チームの一員として……

コミュニケーションスキルの活用を！

- SBAR
- 声掛け (Speakin-Up)
- 傾聴 (Listening)
- チェックバック (再確認)
- ハンドオフ (引き継ぎ)
- 2チャレンジルール
- CUS (自分の懸念を伝える)
- ブリーフィング・ハドル・
デブリーフィング



チームの一員として……

コミュニケーションは情報伝達の手段



急な書類の作成依頼



点滴の交換依頼



処方薬の追加



検査の呼び出し



食事の中止

チームの一員として……

例えば……

《適切な情報を共有する》

- ・安全な検査を進めるためのルール作り
手順や基準・クリニカルパス
- ・正しい患者の身体状況の把握
生体モニターの管理手順・
コントロールチームの活動・ME部門との協働
- ・患者状態の評価
他職種による運動機能・認知機能評価
・リハビリ分門・リエゾンとの協働



チームの一員として……

《《カンファレンスや検討会へ参画》》

- ・症例カンファレンス
- ・術前カンファレンス

➡ 心理的安全性を高めるための活動を並行

《《認定看護師・特定行為研修修了者・診療看護師と
ともに、チーム活動の推進》》

など



TAKE HOME MESSAGE

医療事故はコミュニケーションとチームワークの欠如から起きるといわれます。日常に、常に危険は潜んでいます。医療現場は『守り』が少ない環境なのです。「安全」な医療現場はありません。100%の確率で正しい診断もできません。「安全」が脅かされた医療はすべてが無駄になります。ですから、私たちはチームで安全に取り組み、惜しみない努力を続けていける組織でありたい。